外国語科学習指導案

日　時　令和８年２月 20 日(木)
５校時　13:30～14:15
学校名
対　象　第６学年　組　　名
会　場　６年　組　　教室
授業者

１　単元名

Unit 8　My Best Memory.　*Here We Go! 6*　（光村図書）

２　単元の目標

６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために、内容を整理して卒業スピーチをすることができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　My best memory is ～.や I went to ～.などの表現や関連語句を理解している。 ②　思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所や行ったことなどについて、内容を整理して話す技能を身に付けている。	①　６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために、内容を整理して卒業スピーチをしている。	①　６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために、内容を整理して卒業スピーチをしようとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）　第２章　第 10 節　外国語　第２　英語　１　目標　⑷　話すこと［発表］

> ウ　身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語彙や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

また、同２　内容〔第５学年及び第６学年〕　〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

> エ　文及び文構造
> (ｲ)　文構造
> c　［主語＋動詞＋目的語］のうち、
> 主語＋動詞＋［名詞／代名詞］

及び、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

> ア　身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

さらに、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

> ①　言語活動に関する事項
> エ　話すこと［発表］
> (ｳ)　簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校生活や地域に関することなど、身近で

簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。

② 言語の働きに関する事項

イ 言語の働きの例

(ｳ) 事実・情報を伝える

・ 発表する

を受けて、６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために、内容を整理して卒業スピーチをするという言語活動を設定することとした。

⑵ 児童観

本校では外国語活動と外国語科の授業を、それぞれの学級担任や講師が指導している。また、週に４～５回程度ＡＬＴが来校し、連携して授業を行っている。

本学級の児童は、外国語活動にて、自分の好きなものや嫌いなもの、気持ちや数、曜日、日課、場所などに関わる表現について言語活動を通して慣れ親しんできた。また、第５学年では、好きな教科を伝える学習や人を紹介する学習を行い、第６学年では、動物の食べるものや住んでいる場所を伝える学習を行っているため、英語で発表を行う学習の基礎が築かれている。

本単元の設定にあたっては、６年間での自分の成長を振り返り、小学校生活での思い出について内容を整理して発表するという言語活動を単元末に設けた。本単元は、小学校の外国語科として学ぶ最後の単元である。これまでに外国語科の学習で学んだ成果や、小学校生活を通して成長した姿を学級の友達に向けて発表することで大きな達成感を感じ、自信をもって中学校進学を目指す。

⑶ 教材観

本単元は、My best memory is ～. やI went to ～.などの表現を用いて思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所や自分が行ったことなどについて発表する単元である。本単元で扱う言語材料については、第６学年の Unit 4 で、過去に行ったことを伝える表現やその感想を表す表現について学んだ。本単元の学習を通じて、これらの表現を十分に活用できるよう定着を図る。

また、本単元末の言語活動として、６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために、卒業スピーチをするという言語活動を設定した。卒業を目前に控え、外国語科の学習で身に付けた表現を活用し、自分の経験や学習ならではの内容について学級の友達に発表する場面を設けることで、児童の「主体的な学び」を促す。

発表については、児童が聞き手である保護者の方を想定して、話し方の工夫と内容の整理について検討し、十分な工夫を行うことができるように配慮する。話し方の工夫としては、声の大きさや話す速さ、間の取り方や図示などの工夫を想定し、内容の整理としては発表の筋立てや伝えたい内容の選択、既習事項を活用した説明を想定している。また、発表では長い内容を話すことにこだわらず、児童が自信をもって話せる程度の長さを目指すことに留意する。伝えたい内容を整理し、聞き手に配慮して発表を工夫することに焦点を当てることで、児童の思考をともなった深い学びへとつなげる。

【言語活動の発表の例：修学旅行について話す場合】 ※（ ）内は「内容の整理」を示す。

I want to talk about my best memory in Fujimidai elementary school. （導入）
My best memory is school trip. （主題）
I went to Takeshi. I enjoyed campfire. I was a member of campfire team. （説明）
I enjoyed singing. It was fun and exciting. （感想）
Thank you for listening. （結び）

５　年間指導計画における位置付け

月	単元名	重点化領域
4	Unit 1　This is me.	話すこと［やり取り］
5	Unit 2　Welcome to Japan.	聞くこと
6	Unit 3　What time do you get up?	話すこと［発表］
7	世界の友達１ You can do it! 1	
9	Unit 4　My Summer Vacation	書くこと
10	English Story “Kurikindi” Unit 5　We live together.	読むこと 話すこと［発表］
11	Unit 6　I want to go to Italy.	話すこと［やり取り］
12	世界の友達２ You can do it! 2	
1	Unit 7　My Dream	話すこと［やり取り］
2	Unit 8　My Best Memory（本単元）	話すこと［発表］
3	世界の友達３ You can do it! 3	

６　単元の指導計画と評価計画（全６時間）

時	目標	学習内容　・学習活動	評価規準(評価方法)
第１時	単元の見通しを立てて、伝えたい内容を整理することができる。	○　単元目標の理解 ・　本単元のトピックに触れて概要を捉え、学習の流れと単元末の言語活動について理解する。 ○　単元の表現に触れる ・　本単元で扱う表現に触れ、伝えたい内容を整理する。	ウ－① （行動観察）
第２時	学校行事を表す英語を知り、思い出に残った学校行事や、そのときに行ったことについて話すことができる。	○　学校行事に関わる表現 ・　スライドやピクチャーカードを使って、学校行事を表す英語について理解する。 ○　既習事項の復習 ・　教科書を使って過去を表す表現を復習し、思い出を詳しく説明する表現について理解する。 ○　ペアでのやり取り ・　思い出に残った学校行事や、そのとき行ったことについて、ペアで発表し合う。	ア－① （教科書の解答分析）
第３時	感想を表す英語を知り、思い出に残った学校行事とその感想について話すことができる。	○　感想を表す表現 ・　ピクチャーカードを使って感想を表す英語について理解する。 ○　ペアでのやり取り ・　思い出に残った学校行事とその感想について、ペアで発表し合う。	ア－① （教科書の解答分析）

第４時	単元末の発表会について話し合い、どのような工夫をすると良いかまとめることができる。	○　話し方の工夫についての検討 ・　発表会をする際に、どのような話し方の工夫があるとよいか、これまでに発表をした経験を振り返り話し合う。 ○　内容の整理についての検討 ・　内容の整理として、どのような筋立てにすると良いかを考え、何が必要か、どのような順序で話したらいいかを児童の言葉でまとめる。	ア－② （ワークシート）
第５時（本時）	話し方の工夫と内容の工夫を意識し、グループでミニ発表会を行うことができる。	○　ミニ発表会 ・　前時の話し方の工夫と内容の整理の工夫を意識してミニ発表会を行い、グループでアドバイスし合う。 ○　アドバイスを受けた練習 ・　ミニ発表会で受けたアドバイスをもとに、各自が必要な練習について考えて取り組む。	ア－② （行動観察） ウ－① （振り返り分析）
第６時	６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために、内容を整理して発表することができる。	○　発表会 ・　外国語科の学習で学んだ成果や、小学校生活を通して成長した姿を学級の友達に向けて発表する。 ○　単元の振り返り ・　単元の学習を振り返り、児童の学びを価値づける。	イ－① （動画分析） ウ－① （振り返り分析）

７　指導に当たって

ア　６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために卒業スピーチをするという言語活動を設定し、言語活動の目的・場面・状況を児童の思いに沿ったものとすることで、内容の整理や相手を意識した工夫を引き出し、「主体的な学び」を促す。

イ　児童同士で発表をしたり、教師による中間指導を行ったりすることで、より良い発表を目指すための学びの交流を促し、「対話的な学び」を推進する。

ウ　話し方の工夫や内容の工夫について理解し、児童同士でアドバイスをし合うことで、コミュニケーションにおける見方・考え方の再構築を伴った「深い学び」を達成する。

８　本時（全６時間中の第５時）

⑴　本時の目標

話し方の工夫と内容の工夫を意識し、グループでミニ発表会を行うことができる。

⑵　本時の展開

時間	○　学習内容　　・　学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 ７分	○　Small Talk ・　あいさつをする。 ・　既習事項の振り返りを児童同士で行う。	・　本時で扱う表現を取り入れることで、表現の定着を図る。 ・　発表会に向けた話し方の工夫へとつながる姿を認め、全体で共有することで児童の意識付けを図る。	

展開 33分	○　めあての確認 話し方の工夫と内容の整理を意識して、グループでミニ発表会をしよう		
	○　発表で扱う語彙や表現の復習 ・　ピクチャーカードやスライド等を活用して、発表で扱う語彙や表現を確認する。	・　児童が飽きずに語彙や表現に触れられるよう、内容の示し方を工夫して行う。 ・　音を聞く、文字を見る、声に出すなど、語彙や表現に様々な角度から触れられるようにする。	
	○　発表練習 ・　発表内容と工夫するポイントについて一人で確認をする。 ・　ペアで発表を行い、お互いの内容を聞き合う。 ・　グループでミニ発表会を行い、話し方の工夫と内容の整理の工夫についてアドバイスをし合う。	・　前時で話し合った話し方の工夫と内容の整理について振り返る。特に内容の整理については、前時に児童の言葉でまとめた筋立てをあらためて示すことで意識付けを図る。 ・　個人→ペア→グループと段階を踏んで発表練習に取り組ませることで、児童がより安心して取り組めるように配慮する。	ア－② 思い出に残った学校行事や、そのときに行った場所や行ったことなどについて、内容を整理して話す技能を身に付けている。（行動観察）
	○　中間指導 ・　事前に机間指導を行い、ペアやグループで得られた気付きが学級全体へと広げられるよう話し合う。	・　どのような点が優れていたのかを明らかにし、児童がそれを再現することができるように理解を図る。 ・　活動で得られた気付きを板書に残し、その後の練習で児童が意識できるよう配慮する。	
	○　発表会に向けた練習 ・　中間指導で得られた学びを踏まえて、児童が必要な練習について考えて取り組む。	・　練習方法の具体例をスライドで示すことで、いつでも確認できるようにする。 ・　児童が発表のポイントを意識して練習に取り組むことができるよう、適宜声掛けを行う。	
まとめ 5分	○　振り返り ・　一人一台端末で振り返りを共有する。	・　その場で児童の振り返りを確認し、本時のめあてに沿ったものを共有することで、学級全体での学びを深める。	ウ－① ６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために、内容を整理して卒業スピーチをしようとしている（振り返り分析）

⑶　板書計画

2/20　話し方の工夫と内容の整理を意識して、グループでミニ発表会をしよう

○ 発表のポイント

話し方の工夫

内容の整理

授業の流れ

Greetings
Goal
Practice Time
Thinking Time
Reflection

⑷　授業観察の視点

ア　６年間での自分の成長や小学校生活での思い出を学級で伝えるために卒業スピーチをするという言語活動を設定し、言語活動の目的・場面・状況を児童の思いに沿ったものとすることで、内容の整理や相手を意識した工夫を引き出し、「主体的な学び」を促すことができたか。

イ　児童同士で発表をしたり、教師による中間指導を行ったりすることで、より良い発表を目指すための学びの交流を促し、「対話的な学び」を推進することができたか。

ウ　話し方の工夫や内容の工夫について理解し、児童同士でアドバイスをし合うことで、コミュニケーションにおける見方・考え方の再構築を伴った「深い学び」を達成することができたか。